

パプリカの省力営農の試行

状況

島根県 出雲市 大社地区

地区概要: 農地面積671.00ha(うち耕作放棄地7.56ha)
 荒廃の理由: 労働力不足
 荒廃の程度: 雑草が繁茂。重機による作業が必要
 全体調査の区分: 緑



再生作業前

取組概要

対象面積: 38a(畑)
 実施期間: 再生作業:平成22年1月25日～平成22年3月25日
 栽培実証:平成22年4月1日～平成23年3月31日
 取組のきっかけ: 大社のブドウ団地の一角にある畑だったが、土地所有者の体力低下により農作業ができなくなり、荒れていた。島根県担当者から地域協議会会員である取組主体に、実証ほ事業の説明があり、実施に至った。
 調整経緯: 取組主体から地元農業関係役員への説明を行った後、地権者へ借地のお願いをした。はじめは地権者が施設設置に慎重だったが、調整を重ねるなかで了承された。
 取組主体: JAIずもアグリ開発株式会社
 取組作物: パプリカ
 作業内容: 雑草の刈り払い、整地、用排水整備、4連棟ハウス3棟(計2851.2m²)・管理用ハウス1棟の設置、島根型水耕システムの導入
 実証状況: 農地を再生、野菜栽培ハウス・システムを建設し、パプリカ栽培における経営実証(家族経営)を行っている。
 出荷先: JAIずも

今後の予定

継続してパプリカを栽培し、1年間の栽培を通じて経営実証を行う。

再生状況



再生作業中(整地)



パプリカ栽培中



栽培管理中



再生作業後



パプリカ栽培中



収穫物

現状